

## 成熟をめざして

へブライ人への手紙第五章11〜第六章12節

ですから私たちは、……キリストの教えの初歩を後にして、完成を目指して進もうではありませんか。(一)

著者は、いつまでも信仰の初歩に留まっている人々に成熟を目指して歩むように促します。この手紙が送られた教会には、洗礼を受けてもう何年も経ているのに、まだ初歩の段階にいる人々がいたということです。もう堅い食物を食べなければならぬ時期なのに、いつまでも乳ばかりを飲みたがる幼子のようにだと著者は嘆きます。最大の原因は、神の言葉を聞く彼らの姿勢にありました。神の言葉を聞くことにおいて鈍く、自分のこととして聞こうとしないのです。少し難しい話になると心の耳を塞いでしまうのです。それでは信仰の歩みは止まってしまいました。そのような者たちに、共にキリストを学び続けようではないかと著者は勧めます。キリストをより深く知ることこそ、信仰の成長につながるからです。私たちも信仰の初歩を後にし、完成を目指して進もうではありませんか。